

感染症情報 3月31日～4月6日

府下小児科190医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,327例(堺市	125例)
②溶連菌感染症	168例(堺市	22例)
③RSウイルス感染症	157例(堺市	21例)
④伝染性紅斑	62例(堺市	2例)
⑤水痘	53例(堺市	4例)

府下297医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 323例(堺市 15例)

報告数による順位。前週比14.5%減の1,866件。感染性胃腸炎が府下で前週から13%減、堺市で前週140例→今回125例。溶連菌感染症が府下で14%減、堺市で前週31例→今回22例。RSウイルス感染症が府下で31%減、堺市で前週19例→今回21例。伝染性紅斑が府下で15%減、堺市で前週5例→今回2例。水痘が府下で23%増、堺市で前週3例→今回4例であった。

インフルエンザが府下で前週573例→今回323例で44%減。堺市は前週29例→今回15例で48%減。定点当たり大阪府は1.09、堺市は0.52であった。

全数把握疾患である百日咳の報告が大阪府で41例(泉州ブロックが15例でワースト。堺市は2例であった。今年の第11週(3週間前)の時点で既に昨年1年の累計数を上回っている。

府下297医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 389例(堺市 53例)
大阪府定点 1.31 堺市定点 1.83

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
22	36	12	30	25	35	26	42	28	66	67	389

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回623例→今回389例で38%減、定点当たり2.08→1.31であった。堺市で前週61例→今回53例で13%減、定点当たり2.10→1.83であった。府下のブロック別でワースト2位であった。

麻疹の報告が大阪府ブロックで1件あった。風疹はなかった。